

＊まえがき

今のあなたの人生は、お天気为例えると、なんでしょうか？

わたしの人生は、土砂崩れ、大雨、洪水を経て、今はのどかな小春日和の日々です。

雨が降れば傘をさすように、人生での急な天候不良にも、傘に代わるものが必要です。それは自己啓発のワークシヨップや講座かもしれません。時には占いや宗教なのかもしれません。何をツールとしても、最終的には自分でさせる傘を持つこと。それが、一番大事なのだと思います。

自分でさせる傘を持つためには、経験が役に立ちます。経験から学んだ知恵があなたの傘となるのです。けれども、何から何まで直接経験して学んでいくのは大変です。そこで役に立つのが、間接的な経験。つまり人の人生から学ぶことです。

ところで、わたしはゴルフをやりますが、ゴルフコースに出ると、池にボールを落としてしまったり、林に打ち込んでみたり、さまざまトラブルに見舞われます。けれども、そこには必ず救済措置というのがあり、ゴルフを続けることができるようになっていきます。逆にいえば、コース

に出たら、何があっても必ず自分でボールを打ちながら十八ホールを最後まで回らなければならないのです。

人生もこれと同じ。どんなつらい出来事にも、どんな悲しい出来事にも、必ず救いの道はあります。そして、この世に生を享けた以上、その命が尽きるときまでは、何があっても生きること。わたしは、そう信じています。

この本が出る頃、わたしは六十歳になっているでしょう。自身の人生をあらためて振り返ってみると、どの出来事もわたしには必要だったと思えます。これまでのすべての出来事は、まるでパズルのピースのようなもので、さまざまな出来事Ⅱピースによって、わたしという一人の人間ができているのが、よくわかります。そして、そう思えるところまでたどり着けたことをうれしく思います。

今、悩んだり苦しんだりしている方にも、いつか必ずそう思える日がきます。

それは、いつ？

それは、あなた次第。

そして、少しでも早くそんな日に出会えることを願って、この本を書きました。

わたしの辿ってきた人生から、何か一つでも生き方のヒントを得て、あなたが自らさせる傘を持つことにつながれば、こんなうれしいことはありません。